

南相馬市鹿島区仮設住宅 健康相談と栄養指導

絆診療所のある鹿島仮設住宅には、約 2000 戸に約 5000 弱の住民が生活していた。狭い仮設住宅では十分な調理もできず、仕事の見通しもない日々が続きストレスから飲酒量が多くなり、生活習慣病を悪化させてしまうケースが多く見られていた。

そのため、小高区で地域医療に取り組んでいた絆診療所の遠藤清次先生と管理栄養士の鶴島綾子さんに委託し、健診と栄養指導の会を行うことを JCF が支援。自身も被災者であるスタッフが仮設住宅で暮らす人たちに寄り添いながら自立につながるような関わりをヘルスケア指導を通して行った。

- ・鹿島仮設住宅内の集会所 26 ヶ所で、健康診断と栄養指導の会を実施した。
- ・健康講話会を 3 回実施。飛び入りで焼き鳥屋も参加し大盛況だった。
- ・ボランティア参加の岡本作業療法士によるタオルを使った「まけない体操」は好評だった。

